

専門科目 保健政策・医療管理学分野

(博士後期課程)

科目名	医療経済分析特論	code number : HPM 515	選択	1 単位
-----	----------	--------------------------	----	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1年次	配当学期	後期(後半)	曜日・時限	水曜 3,4時限	授業方法	講義

## 1. 授業の概要

効率性・生産性の定量的分析は医療管理の要諦であると同時に、医療政策・経済上も極めて重要な意味を持つ。他産業における効率性・生産性の科学的測定は、経済学・経営学・工学分野で2000年以降急速に発展してきた。すでに確立された手法としてはデータ包絡分析や確率的フロンティア分析などが存在し、その応用発展型も盛んに研究されている。こうした手法は海外では企業経営・公共政策・教育・国防などに应用され、それをもとに制度設計や経営方針が決定されている。本講義ではこのフロンティア分析法を身に着けて、自身の研究課題に応用できるようになることを目標とする。

## 2. 授業の到達目標

## 【一般目標 (GIO)】

1. 科学的効率性測定方法を理解する。

## 【行動目標 (SBO)】

1. オペレーションズ・リサーチの基本的分析ツールとしてのフロンティア分析法を理解できる。
2. 特にデータ包絡分析法を実際のデータに応用できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- (1) プレゼンテーション (40%)
- (2) 積極的な授業参加 (30%)
- (3) 討論の論点の把握と対応力 (30%)

## 4. 教科書・テキスト

Ozcan YA: Health Care Benchmarking and Performance Evaluation: An Assessment using Data Envelopment Analysis (DEA), 2nd ed. Springer. 2014

## 5. 参考書

Hollingsworth B, Peacock SJ. Efficiency Measurement in Health and Health Care. Routledge. 2008

## 6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・上記教科書・参考書を輪読形式で学生が報告する。それに対して教員は相互討論を促し、補足コメントする。同時にコンピュータソフト DEA Solver Proの使用を体験する。自身で効率性を測りたい題材を用意してくることが望ましい。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

## 7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

## &lt;授業計画&gt;

## 医療経済分析特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	11/18(水)	3	中田 善規 教授	講義概略・医療の評価(第1章)
2	11/18(水)	4	中田 善規 教授	データ包絡分析法(第2章)
3	12/2(水)	3	中田 善規 教授	規模の収穫モデル(第3章)
4	12/2(水)	4	中田 善規 教授	加重制限モデル(第4章)
5	12/9(水)	3	中田 善規 教授	無方向モデル(第5章)
6	12/9(水)	4	中田 善規 教授	パネルデータ(第6章)
7	12/23(水)	3	中田 善規 教授	医療の質(第7章)
8	12/23(水)	4	中田 善規 教授	先進モデル(第8章)